

臨床研究に関するお知らせ

子宮頸部高度上皮内病変（HSIL）は子宮頸癌の前癌病変で、細胞診で HSIL と診断することは子宮頸癌を予防するために有用です。しかし、閉経後の子宮頸部細胞診では萎縮による変化が強い場合があり、HSIL か萎縮性変化かの鑑別が困難な場合が多々あります。本研究は、両者を鑑別するための所見がないか過去の細胞診標本を再鏡検する後ろ向き研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行います。すでに採取された検体や情報を利用させていただく研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分注意を払います。

ご自身の診療情報などが利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

子宮頸部細胞診で萎縮性変化を伴った子宮頸部高度扁平上皮内病変（HSIL）の診断について

2. 研究責任者

日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課 真谷亜衣子

3. 研究の目的

子宮頸部細胞診で萎縮性変化を伴った HSIL の診断に有用な所見を明らかにする

4. 研究の概要

(1) 対象

2015年4月から2022年12月までに当院にて子宮頸部細胞診を行った検査時50歳以上の方を対象としています。

(2) 利用させていただく情報

電子カルテに記載のある診療記録、検査データ等を利用させていただきます。

(3) 方法

過去に採取された細胞診標本を再鏡検し、細胞像の検討を行います。

(4) 個人情報の取り扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

- (5) ご自身の情報が利用されることを望まない場合
臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の診療情報などが利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。
- (6) 資金源および利益相反などについて
記載すべき経済的な利益関係や利益相反はありません。

5. 問い合わせ先

和歌山県和歌山市小松原通四丁目 20 番地

日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課 真谷亜衣子

電話：073-422-4171